

沿岸各地の水温 (5月26～31日)

日本海 14℃台 津軽海峡 10～12℃台
陸奥湾 10～12℃台 太平洋 10～11℃台

今回は津軽海峡の蛇浦、陸奥湾の茂浦、東湾ブイを除く各地で昇温度し、平均前回差は+0.4度となりました。前年と比べると、各海域でやや高めとなり、平均前年差は+0.9度となりました。平年と陸奥湾と太平洋でやや低め、日本海、津軽海峡で平年並みとなりました。

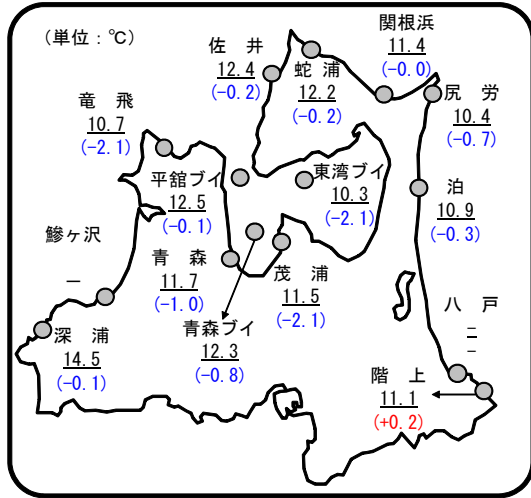


図 定地水温 (5月26～31日) 平均値 (平年差) ヲイ1m

表 沿岸各地の水温 (5月26～31日) (単位: °C)

海域	地点	水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	14.5	+0.1	+0.5	-0.1
	鱒ヶ沢	-	-	-	-
	平均	14.5	+0.1	+0.5	-0.1
津軽海峡	竜飛	10.7	+0.1	+0.3	-2.1
	佐井	12.4	+1.0	+1.3	-0.2
	蛇浦	12.2	-0.3	+1.0	-0.2
	関根浜	11.4	+0.5	+0.8	0.0
	平均	11.7	+0.3	+0.9	-0.6
陸奥湾	青森	11.7	+0.9	+0.9	-1.0
	茂浦	11.5	-1.1	+1.3	-2.1
	平館ブイ	12.5	+1.3	+1.6	-0.1
	青森ブイ	12.3	+0.6	+0.8	-0.8
	東湾ブイ	10.3	-0.1	-0.1	-2.1
平均	11.7	+0.3	+0.9	-1.2	
太平洋	尻労	10.4	+0.1	+0.6	-0.7
	泊	10.9	+1.1	+0.9	-0.3
	八戸	-	-	-	-
	階上	11.1	+0.9	+1.8	+0.2
	平均	10.8	+0.7	+1.1	-0.3
全体平均	11.7	+0.4	+0.9	-0.7	

※平成21年4月から鱒ヶ沢の観測位置が変わりました。
※平均の前年差・平年差には鱒ヶ沢は含まれません。
※深浦は5/26まで

太平洋の海況 (5月29日～30日)

概況：沿岸水温は10～11℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

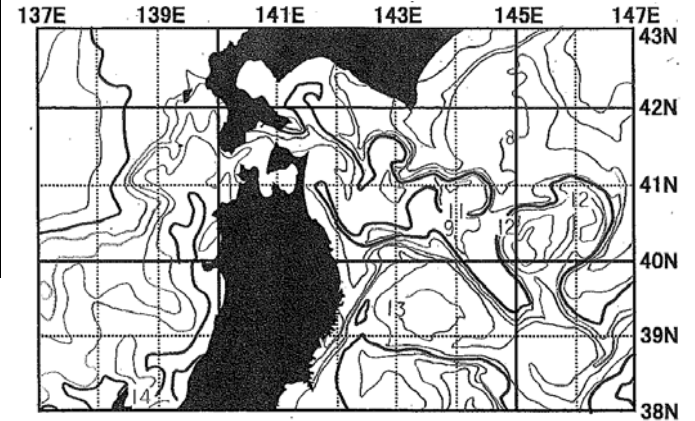
前回と比べて1度ほど昇温しています。前年同期と比較すると1度ほど高い水温となっています。

日本海の場合 (5月29日～30日)

概況：沿岸水温は13～14℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて2度ほど昇温しています。これは前年同期と比較すると1度ほど高い水温です。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第17号 5月31日発行 表面水温分布図

○試験船情報

試験船開運丸は5月29日から6月1日まで、日本海において6月分の沖合定線観測を行いました。観測結果の概要は右表のとおりで、表面の最高水温ははなはだ低め、50m層はかなり低めで、対馬暖流の流幅は平年並み、水塊深度はやや浅め、北上流量もやや少なめで、対馬暖流の勢力としては平年並みでした。

対馬暖流流勢指標6月 5月29日～6月1日:開運丸

	2007	2008	2009	2010	2011	平年差	平年比	
各層最高水温 (°C)	0m	15.7	14.5	15.2	13.1	13.2	-2.84	-223
	50m	13.25	12.02	13.61	10.92	9.91	-1.86	-173
	100m	11.4	10.01	11.65	10.15	9.51	-0.49	-52
流幅 (マイル)	舳作線	72.3	49.9	54.5	64.4	33.5	-6.8	-48
	十三線	26.7	58.4	59.5	69.1	-	-	-
水塊深度(m)	234	200	230	229	162	-38	-123	
北上流量	2.76	2.48	3.43	3.39	1.76	-0.82	-122	

○平成23年度日本海マアジ長期漁海況予報 (5/25水産庁)

対象魚種：マアジ

対象海域：日本海 (島根県～新潟県)

対象漁業：まき網、定置網

来遊量：日本海西部・中北部ともに前年並み

※前年は2010 (平成22) 年5月～9月

○スルメイカの漁況

沿岸小型船の主漁場は新潟沖となっており、山形県でも水揚げが開始されました。5月23日～5月28日に男鹿沖～小泊沖で行われた函館水試による試験操業結果では、昨年と比べて分布密度は低く、魚体も小型でした。